

平成23年度 お茶の水幼稚園の教育についてのアンケート集計結果

平成 24 年 2 月 29 日
千代田区立お茶の水幼稚園
園長 小林 勇司

調査人数	44名
回収枚数	44名
回収率	100%

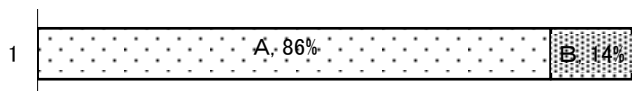
- A:とてもそう思う・よくあてはまる
B:そう思う・だいたいあてはまる
C:あまり思わない・あまりあてはまらない
D:まったく思わない・まったくあてはまらない

【本園の教育目標】

本園の教育目標は「あかるく げんきな子」「なかよく あそぶ子」「よくかんがえ やりぬく子」です。この教育目標を達成するために以下のような 指導を行っています。

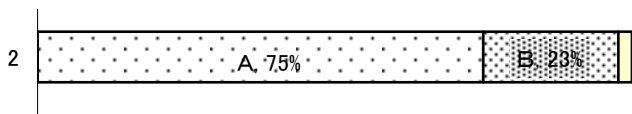
1 あかるくげんきな子

幼稚園生活を楽しみながら、健康や生活に必要な習慣を身に付けたり、体を動かすことを楽しんだりするような活動が行われていると思いますか。



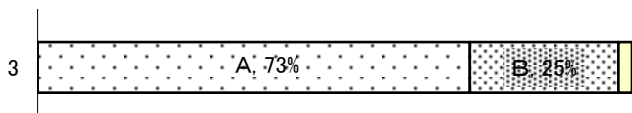
2 なかよくあそぶ子

先生や友達とかかわりをもちながら幼稚園生活を楽しんだり、ルールや約束を守って生活したりするような配慮がされていると思いますか。



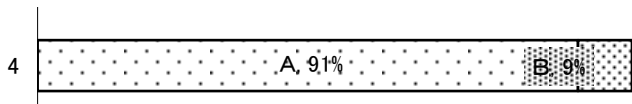
3 よくかんがえやりぬく子

いろいろなことに興味をもち、自分で考えて取り組んだり、挑戦したりして、達成感を味わえるような教育がされていると思いますか。



4 一人一人を大切にする教育①

全教職員で全園児を見守っていくチーム保育を実践しています。担任以外の先生にも触れる機会が多いのは、よいと思いますか。



アンケートの結果を受けて 園長 小林 勇司

今年度は昨年に引き続き、体を動かすことを楽しめるようにいろいろな場所（公園・校庭・保育室など）での遊びや環境構成を工夫しました。全学年が公園に出て、音楽に合わせて走ったり、校庭や講堂で学級ごとにルールのある遊びをしたりして、戸外での遊びの楽しさや体を動かして遊ぶ心地よさを感じています。また、学年を超えて遊びの伝承も行われています。戸外遊び後は、手洗い・うがいや汗を拭く習慣な

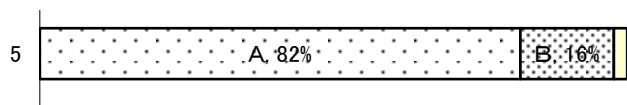
幼稚園は、社会生活の第1歩です。自分とは考えの違う相手の存在に気付き、みんなで過ごす生活の心地よさを感じていきます。その中で、守らなくてはいけないルールがあることを知っていきます。また、約束を守るだけでなく、自分で考え、判断できる子どもの育成を目

「わが子はこの教育目標まで達していないと感じる」というご意見をいただきました。教育目標は3年間を通し、最終的に目標にしている子どもの姿です。3歳児では、自分の好きなことを繰り返し楽しむ中で、より遊びを楽しくするために考えること。4歳児では、むずかしそうに見えることにも挑戦し、どうしたらよいか考えて解決していこうとすること。5歳児では、自分の目的に向かって友達と協力して取り組み、与えられた課題に向かって考えること。

複数の教職員が子どもたちとかかわることで、その子ども一人ひとりの良さをたくさん見つけることができ、より良い指導の方法を探っていくことができます。教職員全員が全園児の担任という気持ちで、チーム保育を行っています。

5 一人ひとりを大切にする教育②

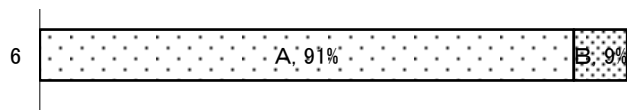
教職員は、一人ひとりの子どもをよく理解し、子どもの性格や長所を把握して、指導に当たっていると思いますか。



お茶の水幼稚園では、教職員がスクールカウンセラーや巡回相談員をまじえ、一人ひとりの子どもの良さを伸ばしていくための指導の方法について、話し合う会を行っています。それぞれの子どもたちのかけがえのない輝きを引き出し、はぐくんでいけるよう引き続き努力してま

6 特色ある教育活動①日本の伝統・文化

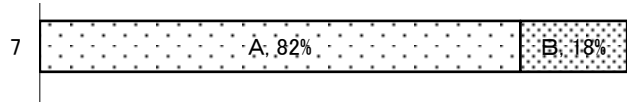
「こどもの日」などの年中行事や「お茶会」など、日本の伝統・文化を取り入れた教育を行っています。これらの活動は、幼児に日本のよさや四季の自然を感じさせるなど、豊かな感性をはぐくむことにつながると思いますか。



年中行事や日本の伝統・文化に触れる活動については、「家庭ではできない経験である、知識だけではなく実際に体験することで学ぶことが多い」というご意見をいただいています。1月には「初春の茶会」で保護者の方に実際のお茶の指導を経験していただきました。日本の伝統・文化に触れ、四季の美しさ、自然の豊かさにも心を動かせる感性を育てていきたいと

7 特色ある教育活動②園外活動

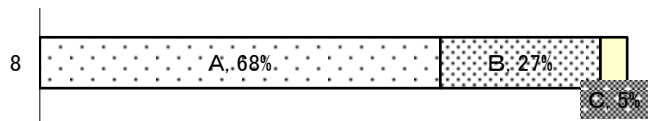
遠足などで園外に積極的に出かける体験活動を大切にしています。公共のマナーを守ろうとする心や自然とのふれあいを通しての豊かな感性が育ちつつあると思いますか。



豊かな自然のある場所に遠足に行くことで、園内では味わえない豊かな自然との直接体験ができるよう考えています。また、公共のマナーを学び、守ることの大切さを体感できるよう、バス遠足だけではなく、西神田保育園や買い物など近隣への園外保育を

8 特色ある教育活動③地域との交流

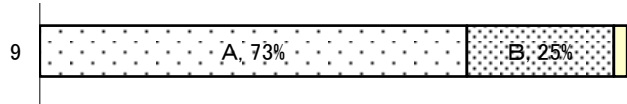
『お茶会』、『保育園との交流』、『わくわく縁日での盆踊り』など、地域の教育力を取り入れた教育をしています。お子さんは、地域の方など様々な人とのふれ合いを楽しんでいますか。



西神田保育園との交流を通して、同年齢の子どもとのふれあいを経験し、盆踊りでの交流を通して、地域の方に親しみをもてるようにしています。いろいろな人と触れ合うことで、子どもたちに人に対する優しさや思いやりの心を学

9 特色ある教育活動④小学校との連携

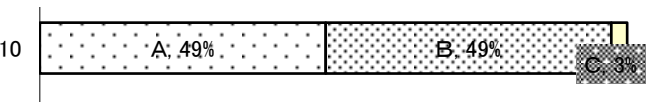
運動会・展覧会などの行事や、学年に応じた小学校全学年との交流活動を行っています。このような行事は、幼児にとって、教育効果があると思いますか。



1年生から6年生までとの学年に応じた交流の中で、仲良しのお兄さん、お姉さんができた子どもが何人もいます。小学生との交流を行うことで、子どもたちに「大きくなることへの憧れ」「小学生への親しみと憧れ」「小学校入学への期待感」を育てて

10 施設・設備・環境①

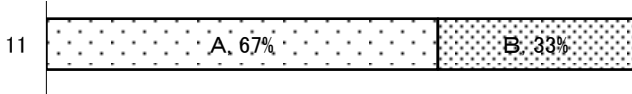
幼児の安全な生活のために、防犯カメラの設置、幼児が園内にいる時間帯の門の施錠などを行っています。また、登園時や公園で遊ぶ際は、公園の出入り口付近に職員を配置しています。幼稚園での安全対策は十分なされていると思いますか。



Aが49%(半数以下)と一番厳しい評価をいただきました。危険を回避するために、安全対策職員の雇用、施錠の徹底、警察との緻密な連絡など事故未然防止策を行っています。また、公園を教育活動に利用していることから、公園内の喫煙に対して不安であるというご意見を多数いただきました。区に対して、幼稚園や保護者の方から働きかけた結果、注意を喚起する看板が立てられ、効果が見られます。今後も、より安心して生活ができるよう、保護者の方と協力しながら改善を図りたいと思いま

11 施設・設備・環境②

毎月、安全指導・避難訓練、年3回、不審者対策訓練を行い、安全に過ごすために必要な能力や態度を培うようにしています。幼児の安全に対する意識を培う機会になっていると

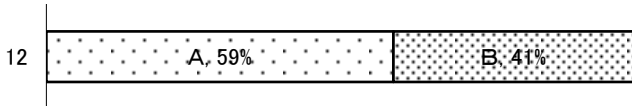


避難訓練や安全指導は毎月欠かさず行い、年3回、警察と一緒に不審者対策訓練を行っています。

今年度は、3・11の経験を活かして、様々な場面を想定し、より現実的な訓練を心がけました。避難用滑り台の使い方も上手になり、どの学年も落ち着いて避難ができるようになってきています。日常の訓練を丁寧に行っているこ

12 施設・設備・環境③

あき箱や紙等を遊びの素材に使うなどのリサイクル活動、水を大切に使うなどの指導を行っています。環境を大切にすることを育む教育になっていると思いますか。

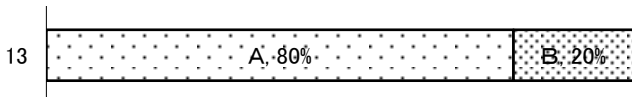


空き箱など回収のご協力をいただき、ありがとうございました。「家で、箱を捨てようとする『まだ使える』と子どもに言われます」という回答もありました。

使う水の量に合わせて、水道の蛇口のひねり方を変えるとといった小さな指導の積み重ねが、環境を大切にする心へつながっていくと考えています。

13 施設・設備・環境④

ウサギ・カメなど身近な動物の飼育やおひさまガーデンの植物の栽培などを通して自然に親しめるような環境を整えていると思いますか。

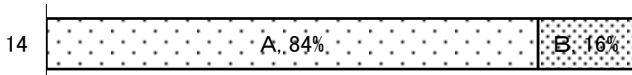


2羽のウサギ「タータ」「ニック」は、子どもたちが毎日えさをやったり、お掃除をしたりして育てています。保護者から、家庭では動物を飼えないので、動物に触れる貴重な体験ですとのご意見をいただきました。小さいものや弱いものを思いやる体験を今後も大切にしていきたいと思います。

おひさまガーデン、テラス、錦華公園の自然をより一層、充実させていきます。親子ガーデンングでは保護者の皆様にご協力いただき、あ

14 開かれた幼稚園①

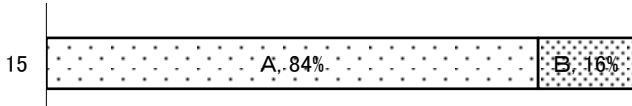
誕生会に保護者の方に参加していただいています。お子さんの誕生日を一緒に祝い、成長を感じる機会となっています



誕生会は、一人ひとりの子どもが主役になる大切な日だと考えています。保護者の方に参加していただき、お話を伺うことで、大人の方に愛されて生まれ育っていることが子どもたちに伝わっているように感じています。今後も引き続き、ご協力をお願いします。

15 開かれた幼稚園②

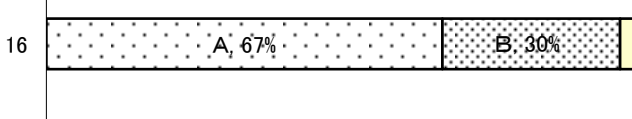
幼稚園公開日を3回実施しています。子どもの様子や育ちを理解する機会となっていますか。



幼稚園公開は年に3回実施しました。いろいろな保育の場面を見ていただけるよう工夫をしていますが、なかなか見ていただけない場面もあります。ご希望があればいつでも参観できま

16 開かれた幼稚園③

『ふれあいスポーツデー』を行っています。大人も子どもも体を動かしたり触れ合ったりする楽しさを感じることができますか。

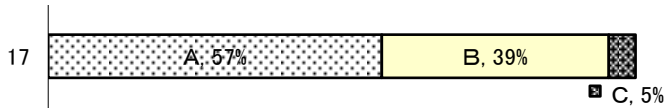


ふれあいスポーツデーは、子どもたちと保護者が一緒に体を動かして楽しむ行事です。普段の保育の中で、子どもたちが楽しんでいる体を動かす遊びを一緒に楽しんでいただけるよう考えています。

今年度は、あいにくの雨天でしたが、地域や保護者の皆様のご協力により、大人も子どもも一緒に盛り上がり楽しむことができたと感じ

17 保護者①

保護者同士が気軽に話し合い、保護者参加の行事などで協力しあうことができますか。



「保護者の負担が多い」というご意見もいただきました。幼稚園では、各家庭によって事情が異なることを踏まえた上で、それぞれができる範囲の中で協力し合えることを基本的な考え

18 保護者②

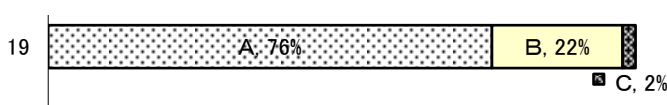
保護者の方には、わくわく縁日や餅つき会など様々な行事の運営に協力していただいています。このことが、幼児の園生活の充実につながり、保護者の園教育への理解を深める機会となっていますか。



保護者のご協力により、子どもたちは通常では経験できない行事の楽しさを感じることができています。保護者が主体的に運営する会があることを大切にしながら、それぞれの保護者の方に大きな負担感がないよう、協力の仕方については今後

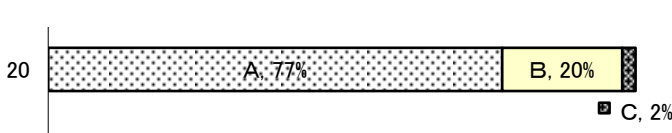
19 保護者③

園だより・学年だよりを発行し、保護者会・個人面談・教育相談・巡回相談員・スクールカウンセラーの活用などを行っています。このような機会が子どもの育ちへの理解の深まりや、子育ての情報を得る機会となっていますか。



幼稚園からのおたよりや学級だより、掲示している写真などの方法で幼稚園の様子をお伝えしています。また、面談や降園時に一人ひとりの子どもの様子をお伝えし、ご家庭と協力していくことが、とても大切だと考えています。巡回相談員、スクールカウンセラーとも面談ができますので、どうぞ副園長にお声がけください。

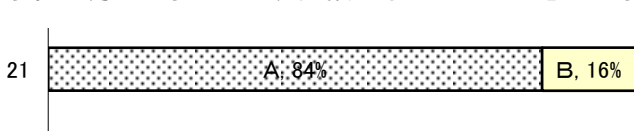
20 保護者④



ご家庭と幼稚園とが手をたずさえ、両輪となって、子どもたちを見守りはぐくむことで、子供たちの本当の良さは伸ばされていくと考えています。Cというご回答もいただいています。より教職員と話しやすい体制づくりを行っていきます。お茶の水幼稚園では、全教職員が一丸となって、子どもの指導にあたっています。担任以外の教職員にも是非、お声をかけてください。

21 保護者⑤

子育て支援として、預かり保育「わくわくタイム」を実施しています。子育てをする上で、支援となっていると思います



「わくわくタイム」は幼稚園の教育課程外の活動ではありますが、大切なお子さんをお預かりしていることには変わりはありません。安心して充実した時間を過ごせるよう努力を継続します。

22 保護者

今年度、緊急時に確実な連絡を取る方法として電子メールの活用を呼びかけ保護者との連携を行ってきました。この対応は、適切だったでしょうか。



ほとんどの家庭が適切だと評価をしていただいておりますが、登録ができず他の方法でないと連絡ができない状況があります。来年度は、ホームページ等他の連絡方法も考えていきたい

この他に、自由意見として、園行事への参加や取り組み方についてのご意見をいただきました。幼稚園にかかわる全てのことに對して、より良くする方法を考え、改善していきたいと考えています。また、今年度、子どもたちの日常の動画を上映したところよかったとの声をいただき、3学期から始めた『園だより配布の説明会』の中でも行っています。いろいろな場面をお見せできるようにして継続していきます。お茶の水幼稚園の教育が充実するためのアイデアを今後もお寄せください。たくさんのご意見をありが